

人権同和問題啓発ビデオ

バースデイレストラン

差別のない明るい社会の実現に向けての実践への一助となる作品です。



あらすじ

二歳の時に両親が離婚して以来、パン屋を経営する父と祖母と暮らしてきた泉。祖母が亡くなってからは、家事を手伝いながら父と共に暮らしていたが、その父も癌で急死し、葬儀の夜、母と十二年ぶりに再会する。

泉は、母の事を何も知らなかった。というのは、父も祖父母もわざと母親の話題を避けていたようで、聞けない雰囲気があったからだ。その状況は、いつのまにか「母親に捨てられた」と泉に思わせるようになっていた。しかし、父の死後、一人になってしまった泉は、仕方なく聡子と暮らし始める。

ある日、泉は、転校先の友達と買い物に出かけ、今、自分が住んでいる所が同和地区であることを知る。学校で同和問題については学んできたはずだが、始めて自分が直面し動揺する。そんな時に、毎年誕生日に父と出かけていたレストランへの招待状が届く。その招待状の差出人は亡くなった父であった。半信半疑でレストランへ行ってみると、そこには父の友人である支配人の宮沢と母、聡子がいた。そこで、泉は父が生前、宮沢に預けていた手紙を受け取る。その手紙から、自分の両親の離婚の原因が部落差別にあり、部落差別を乗り越えられなかったふがいなさによって、家族が離ればなれに暮らさなければならなかった悩み悔やみ続けた父の苦しみを知る。

しかし、泉への十五歳の誕生日プレゼントになるはずだったと母から手渡された両親の婚姻届を見て、死を目前にしながらも、差別を乗り越えようとした父の決意と家族への愛を知る。

泉は、陰ながら自分を見守って来てくれた母を始めて「お母さん」と呼び、自分も部落差別に正面から向き合おうとするのだった。



CAST キャスト

中国 泉	保田 美帆
中国 徹	岡野進一郎
浜崎聡子	桂 木 文
宮沢晴彦	堤 大二郎
森 美里	菅原さくら
小西由貴	杉原未里子
中国 宏	松 浦 達 也
田辺治子	有村茉佐子
泉の祖母	鳴尾よね子
泉の担任	山田アキラ

制作の意図

私たちは、誰もが幸せに暮らしたい、人間らしく生きたいと願っています。しかし、私たちの身のまわりには様々な差別が存在し、すべての人間が生まれながらに持っている侵すことのできない基本的人権が、本人には全く責任のないことで十分には保障されていない現実があります。

なかでも、同和問題は多くの人々の努力によって解決に向けて進んでいますが、今でも同和地区に生まれたり、住んでいるということで、人権が侵害され、苦しみや心に傷を受けたり、不利益を被ったりしている人々がいます。特に、結婚問題は同和問題解決に向けて大きな課題です。

この作品は、中学3年生の主人公が、父親の死によって始めて

自分の両親の離婚の原因が部落差別にあったことを知り、部落差別と正面から向き合い乗り越えていこうと決心するまでの姿を描いています。

この作品を通して、親子の絆を断ちきり、家族愛まで奪ってしまう部落差別とは何か、また、部落差別を支えている様々な社会意識などにも目を向けながら、人間の本当の幸せとは何か、差別を許さない生き方とはどのようなものを今一度考えるための手がかりにしていきたいと思います。建前でなく、本音を出し合った有意義な研修となることを期待し、このビデオ教材が、差別のない明るい社会の実現に向けての実践への一助となることを願っています。

STAFF

プロデューサー 井之上綾子 / 脚本 中山由美子 / 撮影 林 健作 / VE 中山 裕 / 照明 山北 一祝 / 録音 四方 裕幸 / 編集 加納 卓

整音 浜口十四郎 / スチール 井ノ阪一男 / 衣装協力 グラン山貴 / 監督 家喜 俊彦

日本語字幕版あり 上映時間30分

●お申し込み・お問い合わせは

(映) 有限会社 博映商事

TEL 092-741-0306 FAX 092-741-6628

〒810-0073 福岡市中央区舞鶴1-3-31-220

【HP】 <http://hakuei-shoji.jp>

【E-Mail】 info@hakuei-shoji.jp

